
令和 4 年 度

第 33 回 通 常 総 会 議 案 書

と き 令和 4 年 5 月 2 5 日（水）15:15～

と ころ 松任：グランドホテル白山

公益社団法人 松任法人会青年部会

総 会 次 第

1. 開会のことば

2. 来賓紹介

3. 部会長あいさつ

4. 議案審議

第1号議案 令和3年度事業報告等承認の件
監査報告

第2号議案 令和4年度事業計画(案)等承認の件

5. 感謝状贈呈

6. 来賓祝辞

松任税務署長

大畑 茂紀 様

公益社団法人松任法人会副会長

小柳 晶裕 様

7. 閉会のことば

－ 記念講演会－

テーマ 「これからの石川中央都市圏ビジョンについて」

講 師 野々市市長

粟 貴 章 氏

－ 交流会（懇親会）－

場 所 「グランドホテル白山」

卒業生 新本 雄一、西山 芳英

来賓ご芳名

松任税務署

署長

大畑 茂紀 様

法人課税第一部門統括国税調査官

玉井 隆志 様

公益社団法人松任法人会

副会長

小柳 晶裕 様

公益社団法人松任法人会

(歴代青年部会長)

理事

宮川 靖 様

理事

清水 良典 様

理事

丹羽 昭広 様

理事

森 政人 様

理事

吉田 隆之 様

令和 3 年度事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

当青年部会は、本会の基本方針に則り税知識の普及、納税意識の高揚に努め、公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与すると共に、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的として各種事業の実施に努めている。

しかしながら、令和 3 年度については、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業は当初予定したとおりには実施できなかった。通常総会の規模縮小、創立 30 周年記念行事や記念講演会の中止、租税教室の開催数の絞り込みなどの対応を余儀なくされた。

このような厳しい状況の中、コロナ対策を徹底しながら、①租税教室のメニュー・開催方法を工夫、②健康経営の取り組みに対する部会員の意識醸成、③部会員交流会の実施、④ネットを活用した全国大会への参加など、工夫を凝らした活動を展開した。

また、多年にわたる租税教育の推進等による税務行政の円滑な運営への貢献が認められ、令和 3 年 11 月に金沢国税局長から感謝状が贈呈された。

以下、令和 3 年度に実施した主な活動は次のとおりである。

公益目的事業

1. 税知識の普及と納税意識の高揚を目的とする事業

(1) 税務研修会と座談会 2 月 10 日 [佛子園:25 名]

「スマホで確定申告」、「国税の仕事 40 年を振り返って」

《税務署長を囲む座談会》 松任税務署長 大畑 茂紀 氏

(2) 小学生の租税教室

ータックスフロントとけんたくんー

「税のある町・ない町」

館野小学校 7 月 13 日 [6 年生 70 名、ほか 17 名]

菅原小学校 9 月 10 日 [6 年生 78 名、ほか 4 名]

東明小学校 11 月 5 日 [6 年生 69 名、ほか 16 名]

《3 校計》 [6 年生 217 名、他 37 名、合計 254 名]

(3) 小学生の税に関する絵はがきコンクール (女性部会事業協力)

応募総数: 740 点 (前年は 438 点)

松任税務署長賞 1 点、松任法人会長賞 3 点、女性部会長賞 4 点

青年部会長賞 4 点 優秀賞 37 点 [賞状・副賞]

※ 表彰式は、松任税務署長賞を受賞した富陽小学校で実施 (3 月 8 日)

(4) e-Tax の普及・利用の促進 2 月 10 日 [佛子園:25 名]

(5) 全国青年の集い「佐賀大会」 11 月 25 日～26 日

[佐賀市文化会館:1 名、ほか ネット参加 10 名]

2. 地域企業の健全な発展と地域社会への貢献を目的とする事業

(1) 講演会(通常総会・創立 30 周年記念行事) ➡【中止】

5 月 21 日 [グランドホテル白山]

「ラグビーに学ぶ最強チームの創り方」

講師 元ラグビー日本代表 今泉 清 氏

(2) 研修視察 11 月 25 日～26 日 ➡【中止】

全国の各法人会と租税教室に関する取り組みについて意見交換

地域の歴史・文化等の視察

(3) 研修関係の工夫

FAX 通信及びメール通信を通じて、各種の講演会・研修会への参加を呼びかけた。

①松任法人会の税ミナール

・ 8/25 消費税のインボイス制度とは？

・ 9/22 相続・贈与のちょっとイイ話

②インボイス制度説明会

・ 10/26～10/28 計 6 回

松任税務署・青色申告会・間税会との共催

③税を考える週間 公開講演会

・ 11/12

[第 1 部] 松任税務署長 大畑茂紀 氏

「納税環境の整備」～納税者サービスの向上～

[第 2 部] 山口真由 氏

「世界の潮流 日本の選択」～アフターコロナの日本～

(4) 健康経営の取り組み(部会員の意識醸成)

①役員会での全法連DVD視聴 10 月 1 日 [21 名]

②県青連のウォーキングキャンペーンへの参加

「KENCO SUPPORT PROGRAM」への登録 10 月～ [10 名]

③全国青年の集い佐賀大会

「健康経営大賞」ファイナリスト事例紹介 11 月 26 日 [11 名]

※ネット参加を含む

その他の事業

1. 会員の交流、支援、会員増強に資するための事業

(1) 新入部会員の加入促進 (3月31日現在会員数 54名)

令和3年度中の新入会+8名・卒業等▲10名

(2) 懇談会 2月10日 [松任：佛子園] ➡【中止】

(3) 部会員交流会 12月21日 [四季彩 Ricca 25名]

(4) 福利厚生事業の推進

2. その他本会の目的を達成するために必要な事業

会議関係

1. 通常総会 5月21日 [松任公民館 10名]

※ コロナ禍の状況を考慮して規模を縮小。会場を「グランドホテル白山」から「松任公民館」に変更して開催した。

2. 創立30周年記念行事 5月21日 [グランドホテル白山] ➡【中止】

3. その他の会議

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ・ 正副部会長会議 | 4月13日、7月6日、10月1日、12月21日 |
| ・ 役員会(事業実施会議) | 4月13日、7月6日、10月1日、12月21日 |

令和3年度収支計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	摘 要
収入の部	通常会費	450,000	460,000	@10,000円×46名
	事業活動収入	749,000	220,643	本会より
	30周年積立資産(創立30周年)	1,000,000	0	30周年記念行事は中止
	30周年懇親会参加費	485,000	0	〃
	懇親会参加会費	100,000	49,000	部会員交流会
	全国青年の集い参加補助	120,000	15,000	県連参加補助:佐賀大会
	定期預金利息	0	19	周年積立資産受取利息
	収 入 合 計	2,904,000	744,662	
支出の部	租税教室(3小学校)	150,000	84,860	粗品、資料印刷、旅費等
	研修会・座談会	223,000	45,782	
	税務研修・座談会	23,000	45,782	案内、会場費等
	懇談会(座談会)	200,000	0	懇親会
	全国青年の集い	376,000	130,732	佐賀大会
	大会参加費・旅費	302,000	122,732	参加費 @7000 旅費等補助
	懇談会参加費	74,000	8,000	参加費 @8000
	視察研修	240,000	0	佐賀:旅費等補助
	30周年記念事業・通常総会	1,640,000	240,308	
	通常総会	100,000	79,431	案内の通信費、粗品、 卒業記念品等(規模縮小)
	30周年・記念講演会	570,000	132,305	チラシ作成印刷代 講師キャンセル料
	30周年・記念式典	290,000	18,572	30周年記念行事は中止 30周年のあゆみ発行費
	30周年・懇親会	680,000	10,000	30周年記念行事は中止 アトラクション キャンセル料
	会議費	150,000	78,980	事業会議
	部会員交流会	0	120,000	「Ricca」
	北陸青年の集い	18,000	0	コロナ禍により中止
	県青連協会費	37,000	34,000	県青連協
	県青連協総会・北陸青連協	50,000	10,000	懇親会費
	慶弔費	20,000	0	慶弔費
	支 出 合 計	2,904,000	744,662	

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1. 資産の部 (固定資産) 青年部会周年積立資産	1,000,000	周年事業積立 はくさん信用金庫松任支店・定期預金
資産合計	1,000,000	

監 査 報 告 書

令和3年度の事業報告並びに収支決算について監査の結果、事業報告は部会の状況を正しく示しており、また、収支計算書及び財産目録の内容は適正なものであると認めましたので報告します。

令和4年4月6日

公益社団法人 松任法人会青年部会

監 事 中村俊治 

監 事 北村大助 

令和4年度事業計画(案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

法人会は、税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である。

青年部会は、法人会活動の一翼を担うものであり、青年経営者として情熱と気概を持ち過去にとらわれない大胆な発想と果敢な行動力を発揮し、率先して時代を切り開いていかなければならない。

令和4年度も引き続き部会員の増強を図るとともに、税務及び経営研修の充実など幅広く事業活動を推進する。

また、法人会青年部会の活動の柱である「租税教育活動」のより一層の充実に努めるとともに、「健康経営」に関する取り組みについても、部会員の意識を高めることにより積極的な取り組みを推進する。

※ コロナ禍に関する状況については、年明けから全国的に感染者数の激増・オミクロン株の流行拡大が見られ、その収束が見通せない状況が続いており、国民の生活面や経済面に甚大な影響・被害が生じている。

当会の各種事業を展開するに当たっては、その状況を注視しつつ各種事業の実施の可否や実施規模・方法等を検討し、必要に応じて修正を図るなど、弾力的に進めていくこととする。

公益目的事業

1. 税知識の普及と納税意識の高揚を目的とする事業

- (1) 税務研修会と座談会の実施
- (2) 租税教室の実施
- (3) 国税電子申告・納税システム(e-Tax)、地方税ポータルシステム(eLTAX)の一層の普及及び添付書類を含めた電子化の推進
- (4) 消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)に関する周知・広報
- (5) 改正電子帳簿保存法に関する周知・広報
- (6) キャッシュレス納付の普及拡大に関する周知
- (7) マイナンバーカードの積極的な取得と利活用促進の周知・広報
- (8) 全国青年の集い「沖縄大会」への参加

2. 地域企業の健全な発展と地域社会への貢献を目的とする事業

- (1) 公開講演会の実施
- (2) 研修視察の実施
- (3) 「健康経営」に関する取り組み

その他の事業

1. 会員の交流、支援、会員増強に資するための事業

- (1) 新入部会員の加入促進
- (2) 懇談会の実施
- (3) 部会員交流会の実施
- (4) 福利厚生事業の推進

2. その他本会の目的を達成するために必要な事業

会議関係

- 1. 通常総会
- 2. 正副部会長会議
- 3. 役員会（事業実施会議等）

令和4年度収支予算書(案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位:円)

科 目		予算額	前年度予算額	摘 要
収入の部	通常会費	530,000	450,000	@10,000円×53名
	事業活動収入	1,041,000	749,000	本会より
	30周年積立資産(創立30周年)	0	1,000,000	前年の30周年行事は中止
	通常総会懇親会参加費	165,000	485,000	部会員等会費、来賓祝儀
	懇親会参加会費	150,000	100,000	税務署長を囲む座談会 会員交流会
	全国青年の集い参加補助	120,000	120,000	県連参加補助:沖縄大会
	収 入 合 計	2,006,000	2,904,000	
支出の部	租税教室	150,000	150,000	粗品、資料印刷、旅費等
	研修会・座談会	223,000	223,000	
	税務研修・座談会	23,000	23,000	案内、会場費等
	懇談会(座談会)	200,000	200,000	懇親会
	全国青年の集い	416,000	376,000	沖縄大会
	大会参加費・旅費	342,000	302,000	8名参加費@7000 旅費等補助
	懇談会参加費	74,000	74,000	8名参加費@8000 部会長サミット10000円
	視察研修	280,000	240,000	沖縄・旅費等補助
	通常総会	530,000	1,640,000	
	通常総会	130,000	100,000	案内、卒業記念品等
	記念講演会	100,000	570,000	案内、謝金、会場費等
	30周年・記念式典	0	290,000	前年の30周年行事は中止
	懇親会(前年は30周年)	300,000	680,000	総会後の懇親会
	会議費	150,000	150,000	事業会議
	部会員交流会	100,000	0	部会員交流会 (租税教室リハーサル)
	北陸青年の集い	50,000	18,000	登録料
	県青連協会費	37,000	37,000	県青連協
	県青連協総会・北陸青連協	50,000	50,000	懇親会費
	慶弔費	20,000	20,000	慶弔費
	支 出 合 計	2,006,000	2,904,000	

法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして

企業の発展を支援し

地域の振興に寄与し

国と社会の繁栄に貢献する

経営者の団体である



中央の円は「法人会」のコア(核)である「良き経営者をめざすものの団体」をあらわしています。そのコアのもとに集まる「人」の姿を「法人会」の頭文字 "h" に合わせ、企業と社会の健全な発展に貢献する団体であることを、力強く象徴しています